

解 答

50. (A)

51. (D)

52. (C)

53. (C)

54. (B)

50. 「スティーブ=ジョブズは、コンピュータ産業の情勢をすっかり変えたことで知られています。彼は自分の会社、アップル社を通じて、人々のコンピュータに対する考え方や、コンピュータの日常生活への適合の仕方を革命的に変えたのです」

【誤】(A)by→【正】for

- ▶ 本問の下線部(A)は経営学部・理工学部の間55と同様のテーマに沿って出題されています。**be known**「知られている」は結びつく前置詞によって意味が異なり、入試でもよく狙われるので、しっかり区別しておきましょう。本問ではby→forとすれば文意に最適な前置詞となります。

be knownと結びつく前置詞

- ☐ **be known by A**「Aによってわかる」『判断基準』のby
A person is known *by* the company he keeps.
(人は付き合う友によってわかる)
- ☐ **be known to A**「A(人)に知られている」
▶ 動作主を表す場合には**to**を用いるのがふつう(※**by**も使用可能)
His name is known *to* everyone in our town.
(彼の名前は私たちの町のみんなに知られている)
- ☐ **be known for A**「Aで知られている/有名である」
Atami is known *for* (its) hot springs. (熱海は温泉で知られている)
- ☐ **be known as A**「Aとして知られている/有名である」
Atami is known *as* a hot-spring town. (熱海は温泉町として知られている)

[語句]

- ☐ **the way (in which/that) S+V**「SがVする方法」(=**how S+V**)
This is *the way (in which/that)* I came to know him.
= This is *how* I came to know him.
(このようにして私は彼と知り合いになりました)

51. 「飛行機の騒音は過去のものとなる可能性があります。メーカー数社は音がより少ない飛行機を設計し、飛行機が上空を飛ぶ音がこれ以上聞こえないようにしようと試んでいます」

【誤】(D)any longer→【正】no longer

- ▶ any longerは否定文/疑問文で使われ、**not do any longer=no longer do**という関係になります。よってany longer→no longerとすれば、so that以下の節は「人々にこれ以上それら(=飛行機)が上空を通過する音を聞こえないように」という意味になります。

[語句]

- ☐ **so that ...**「～するために[目的]/～するように[様態]」
Talk louder *so that* I can hear you.
(聞こえるようにもっと大きな声で話して下さい)
- ☐ **no longer ...**「もはや～でない」(=**not ... any longer**)
She is *no longer* a child [*not a child any longer*].
(彼女はもう子供ではない)
- ☐ **hear A doing**「Aが～しているのが聞こえる」
I *heard our dog barking* all night.
(夜通しうちの犬が吠えているのが聞こえた)
- cf. **hear A done**「Aが～されるのが聞こえる」
I *heard my name called*.
(名前が呼ばれるのが聞こえた)

52. 「サトシはラグビーにまったく関心がありませんでした。しかし、先週の土曜日に、父親とラグビーの試合を見に行き、すぐにラグビーに惹きつけられました」

【誤】(C)with→【正】to

- ▶ ...and he was immediately (c)attracted with the (d)sport.

and以下は受動態になっているので、能動態にした場合、attractedの目的語はhe(=him)です。attract A to Bで「A(人・物・事)をBに引きつける」という意味になるので、with→toとすれば「彼はそのスポーツに惹きつけられた」という意味の正しい表現になります。

[語句]

- **attract A to B** 「A(人・物・事)をBに引きつける」

The freshness of the fish **attracts** customers **to** the store.

(魚の新鮮さが客をその店に引きつけている)

53. 「毎年恒例のモーターショーが週末に名古屋で行われる。空港からコンベンションセンター行きのシャトルバスサービスが、事前申込者全員に提供される予定です」

【誤】(C)with→【正】for[to]

- ▶ 本問では(c)be provided withの**provide**を目にした瞬間に「provide A with B(AをBに供給する)=provide B for[to] A」の関係を思い出せるかがポイントです。

前問に続き、本問も受動態になっているので能動態で考えると「provide a shuttle bus service 前置詞 all those」という関係になっています。B(供給されるもの)がshuttle bus serviceですから、with→for[to]とすれば正しい表現になります。

[語句]

- **take place** 「(行事などが)行われる/催される」(=**be held**)

The 2004 Olympic Games **took place** in Athens.

(2004年のオリンピックはアテネで開催された)

- **over the weekend** 「週末の間ずっと」

- **those who**節 「～する[である]人々」(=(**the**) **people who**～)

Those who are lazy will never pass.

(怠け者は決して合格しない)

- ▶ who節の動詞がbe動詞の場合は「**who+be動詞**」はしばしば省略されます。

cf. **those present** 「出席者」=those who are present

54. 「アイルランドは、ビニール袋の使用を減らすことを意図した法律を通過させた初めての国でした。2002年に、すべての買い物用のビニール袋が課税されました」

【誤】(B)have reduced→【正】reduce

- ▶ ...a law intended to (b)have reduced the use of plastic bags.

intend to do[doing]は「～するつもりである」という意味ですからto have reduced(減らしてしまったこと)という意になる完了形不定詞は不適です。よって、have reduced→reduceとすればto reduce(減らすこと)となり、文意に適合します。

[語句]

- **intend to do** 「～するつもりである」(=**mean to do**)

I'm sorry. I didn't **intend to** hurt your feelings.

(ごめんなさい。あなたの気持ちを傷つけるつもりはなかったのです)

- **impose A on B** 「BにA(規則・税・罰金)を課す」

Heavy fines are **imposed on** speeders. [受動態]

(スピード違反者には重い罰金が課せられる)